

ドーハの砂嵐

ドーハ日本人学校
佐伯 征彦
平成 27 年 12 月 22 日 (火)

みなさんこんにちは。ドーハ日本人学校の佐伯です。こちらでは12月16日(水)に2学期が無事終了し、日本より少し早く、少し長い冬休みを迎えました。カタールという国には祝日というものがほとんどなく、その代わりに長期休業日が高いという状況です。さて、今回のお便りでは2学期にあった出来事を中心に紹介していきます。

様々な交流活動

<現地校ニュートンインターナショナルスクールとの交流>

11月に1・2年生が現地校のニュートンインターナショナルスクールの2年生と交流しました。1回目はニュートンインターナショナルスクールに行きました。



ドキドキの自己紹介。英会話の学習の成果が試される時です。



グループに分かれてパラシュートを作りました。



一緒に遊ぶことで一気に心がほぐれ、笑顔がいっぱいの活動になりました。

2回目はドーハ日本人学校に招待し、日本の文化を紹介しながら一緒に活動しました。



太鼓を演奏したり、一緒に叩いたりしました。太鼓の音の迫力にびっくりしていました。



折り紙や紙相撲、けん玉など日本の文化を紹介し、体験してもらいました。



ランチに手巻きずしを準備しましたが、現地の子どもたちには全然人気がありませんでした。

<日本代表チームの訪問>

2学期はドーハで日本代表の試合がたくさんあり、日本人学校を訪問してくださる方がありました。

プロの方の話を聞くことで、子どもたちは夢を持ち、努力の大切さを学びました。

この他にもたくさんの交流がありました。よい経験ができました。



ハンドボール男子日本代表 通称「ムササビジャパン」



バスケット3×3 アジア代表 「チームTOKYO」

2学期最大のイベント “学習発表会”

ドーハ日本人学校でも、日本の学校と同じように、2学期最大の学校行事である学習発表会が行われます。小学部～中学部合わせて全校児童33人という小さな学校ですが、様々な発表があり、大いに盛り上がりました。



セリフや歌や踊りをふんだんに取り入れた
1・2年生音楽劇「スイミー」



教科書に出てきた「ごんぎつね」をもとに、
各教科の学習内容を取り入れて紹介した
3・4年生の創作朗読劇「アルぎつね」



詩の世界から日本の文化とカタールの文化を
学び、発表した5・6年生の「言魂」



学校生活の様子を映像と英会話劇で発表した
中学部の「JSD EVERYDAY!」

<ドーハ日本人学校の伝統である太鼓演奏>



1・2年生は自分たちで創作した部分を加えたオリジ
ナル曲「煌々」を披露



3・4年生は「振り」「手打ち」「バチ打ち」の
三部構成に分けたオリジナル曲「絆」を披露



5・6年、中学部は隊形移動などもあり、躍動感あふれ
る曲「童波」を披露。この曲は日本人学校の代表曲とな
っていて、お客様がこられた際はよく披露しています。

この他にも、アラビア語や英語の歌も発表され、
充実した学習発表会になりました。